

○菊地恵一委員長 続いて、二十一世紀クラブの質疑を行います。

なお、質疑時間は、答弁を含めて十分です。阿部眞喜委員。

○阿部眞喜委員 よろしくお願いします。熊谷委員が三十秒も残して、心の準備がまだできていなくて大変申し訳ございません。それでは質問させていただきます。

前回の六月補正予算でしたが、国から来た金額が十億円ということで、県の一般会計からも二億円を追加し十二億円でした。その際に会派として補正予算に対する質問をさせていただきまして、秋の補正に期待するという内容でしたけれども、今回は八百八十三億円という結果でした。宮城県として期待していた金額であるのか、まずは見解をお願いいたします。

○村井嘉浩知事 今回の補正予算は、記録的な渇水への対応や七月の津波で被害を受けた養殖施設の災害対応など、早急に対応が必要な予算を計上いたしました。なお、国では、経済対策の取りまとめに向けた動きもあることから、引き続きその動向を注視するとともに、必要な対応を迅速に進めてまいりたいと考えてございます。十分かどうかというのは、今の段階でなかなか申し上げにくいということでございます。

○阿部眞喜委員 まだまだこれからもっと必要かなというところなのではないかなと思いますので、また次にも期待しながら進めていただければと思います。

続きまして二番です。カムチャツカ半島付近を震源とする地震に伴う津波への対応についてということでございますが、七月三十日に発災したカムチャツカ半島付近を震源とする地震ですけれども、市内に災害緊急放送が流れた際に一体何が起きたのだと驚きましたが、なかなか解除されない津波警報で国道四十五号が封鎖され、家に帰るのも大変な状況でした。まずは安全第一ということを考えると、いま一度防災に対し考えるきっかけになったと言えると思います。津波は陸の上まで上がらず安心したわけですが、心配したのはやはり次の日の海の養殖現場です。私も漁師の方々に連絡をとり、現状をお聞きはしましたが、県として押さえている現在の被害状況の御説明をお願いいたします。

○中村彰宏水産林政部長 水産業関連の被害額でございますが、今月十六日現在で合計二億八百三十九万七千円と報告されております。このうち、特に被害が大きかった気仙沼市におきましては、カキ、ホタテガイなどの養殖施設の流出・破損等で一億二千七百九十六万四千円、生産物の落下等で六千二百七十九万九千円の被害が報告されております。

なお、気仙沼市大島地区などにおきましては、復旧作業と並行して被害の調査が行われておりまして、現時点では詳細が明らかになっておりませんので今後水産物の被害額が増える可能性があるものと考えております。また、気仙沼市以外の複数の市町におきましても、カキ、ホタテガイ、ホヤの養殖施設や水産物の被害のほか、定置網や刺し網の破損などが確認されております。合計千七百七十二万四千円の被害でございます。引き続き被害状況の早期把握に努めてまいりたいと考えております。

○阿部眞喜委員 災害は急にやってきますので、自然と闘いながら誇りを抱いて育てている海産物でございますので、宮城県の全国に自慢できる水産物のためにも、今後もスピーディーな寄り添った対応をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

続きまして、地域ポイント導入支援事業についてですが、現在のダウンロード数は七十三万人ということでございましたけれども、間違いないか確認をお願いいたします。

○梶村和秀企画部長 デジタル身分証アプリの登録者増加、それから県民の防災力向上、地域経済活性化を目的としまして、新規登録者にみやぎポイントを付与するキャンペーンを昨年から実施しておりますが、その効果もございまして、デジタル身分証アプリポケットサインの登録者数は、今月十八日現在で七十二万九千百十一人となっております。登録者数は着実に目標に近づいておりますが、アプリ自体の魅力や必要性が県民に十分理解されていないと継続的な利用に結びつかず、次の大災害に備えるという本来の目的を達成できないため、平時に利用できるアプリの充実に努め、平時における利便性を高めることで、いざというときに備えてまいりたいと考えてございます。

○阿部眞喜委員 目標に向かってということですが、こちらですけれども今回のカムチャツカ半島の津波においてはどのような発信をしたか、一例があればお願いいたします。

○高橋義広復興・危機管理部長 みやぎ防災アプリでは、気象警報等が発表された場合、災害情報共有システム、いわゆるＬアラートから発信される情報をもとに、警報等が発表された旨をプッシュ通知にて自動発信することとしております。今回のカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波では、我が県を含む地域に津波注意報及び警報が発表されたため、その旨をプッシュ通知により発信したところでございます。

○阿部眞喜委員 プッシュ通知ということですので、携帯の画面にそのまま表示されるということでは、開封率というか確認は九割ぐらい取られていると思うのですけれども、開封率みたいなことというのはデータとして調べているのか教えていただけますか。

○高橋義広復興・危機管理部長 みやぎ防災アプリに限らず、デジタル身分証アプリそのものにプッシュ通知の開封状況を確認するという機能がございませんので、県としまして現時点で開封率を把握するということはしておりません。

○阿部眞喜委員 かしこまりました。そこで、ダウンロード数は私はもちろん目標を決めるのはいいと思うのですけれども、ここがゴールではないので、いかに防災の際に活用されるかということが本場に一番のポイントかなと思います。やはり民間企業ではできないところを行政でやるという目線で見ると、ここはしっかりとダウンロードしていただいて、県民を守るというすばらしいアプリになるというところでは、ここでお金が使われるというのは悪いことではないのではないかなと思います。そこでなのですが、先ほど午前中のお話でもアンケートをとるということや、高齢者の方たちのために新しい施策とか内容打っていくことでしたけれども、今後の県のポケットサイン、身分証アプリの立ち位置とか見解があれば教えていただけますか。

○村井嘉浩知事 国はガバメントクラウドということで、自治体——いろいろな市町村含めてやっておりますシステムを共通基盤にしようと、大変なお金をかけてやろうということを考えています。でもそれはもう当然国のほうにお任せして、県は、県と市町村と県民を有機的にネットのようにしてつないでいくというような形にしていければなというふうに思っています。したがって、今は一部の市町村で、例えば丸森が地域ポイントと一緒にやっていたり、あるいは岩沼でも一緒に事業——確か図書館等の貸出しシステムだったかなと思うのですが、ちよつと正確なものではないのですけれども、そういったことを一緒にやろうと、あるいは、幾つかの自治体でこのデジタル身分証アプリと一緒に活用しようという動きがだんだん出てまいりました。私としては、いろいろな形をするに当たって、何もかも県がやるのではなくて、市町村と一緒にいろいろなものをシステム開発していくと。作ったものを一つの自治体だけではなくて、県内のいろんな自治体に活用してもらおうといったようなことをしていくと開発費が非常に安く

なりますし、利用料もだんだん落ちていきますので、そういった形で市町村と一緒にな
ってどんどんいいものを作り上げていくことが何よりも重要なのではないかなと
いうふうに思います。あともう一つは、民間の企業が非常に——やはり七十万人を超え
たということで関心を持っていたいておりますので、いろんなマスコミであったり金
融機関であったり間違いなく悪いことをしない大きな企業ということになりますけれど
も、そういったところと連携をとって、直接県民にとって必要な情報を流していけるよ
うにしていければいいのではないかなと考えているところがあります。

○阿部眞喜委員 私もJR東日本と東京の企業と組んでガマコインというものを作った
経験がありますので、地域ポイントの普段使いの難しさというのは誰よりも多分分かっ
ていると思います。先ほどチャージという話もありましたけれども、これは厳しい言い
方をするとチャージは絶対しませんが、チャージではなくて、例えば失効ポイントで
す。ANAとかJALとかいろんなポイントがあると思うのですけれども、失効ポイン
トをみやぎポイントに使えるように連携するとなると、あちらの企業側からこちらに来
ると。それを寄附アプリのように使えるようにすると面白いのではないかなと思ってい
ます。それを逆に言うと、このアプリにも入っていますけれども、ボランティアをして
くれた方に振るポイントとして使えれば、それが今度はまた地域に回るというような形
にすると循環して使えるのではないかなと。ベネフィットが確か一億ポイントぐらいを
毎年失効していますので、そういうところと連携すると自然とポイントが入ってくると
いう形になると思います。例えば、職の紹介をしたときに、それが今度祝い金として
ポイントを出したりとかもできるようになりますし、ポケットサインがどこまでそこに
対応してくれるかということになりますけれども。例えば、イベント情報を提供する。
そこで千円で売りますよと言えば稼げるアプリにもなるのではないかなと思っていま
すので、可能性は十分いっぱいあるのではないかなと思っています。ただ、宮城県が作っ
ているものではなくて連携しているものになるので、いかにポケットサイン株式会社がで
きるかというところをしつかりと聞いた上で、先ほどのような提案をぜひ飲んでいただ
きたいなと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○村井嘉浩知事 非常に面白いアイデアだなと思っています。早速検討していきたいと
いうふうに思います。

○阿部眞喜委員 以上です。ありがとうございました。